

以下の問に答えよ.

(1) 関数

$$f(x) = \frac{\log x}{x}$$

の $x > 0$ における最大値とそのときの x の値を求めよ.

(2) a を $a \neq 1$ をみたす正の実数とする. 曲線 $y = e^x$ と曲線 $y = x^a$ ($x > 0$) が共有点 P をもち, さらに点 P において共通の接線をもつとする. 点 P の x 座標を t とするとき, a と t の値を求めよ.

(3) a と t を (2) で求めた実数とする. x を $x \neq t$ をみたす正の実数とするとき, e^x と x^a の大小を判定せよ.

[2019 神大 理系 前期]

[解答例]

(1) $f(x) = \frac{\log x}{x}$ より $f'(x) = \frac{1 - \log x}{x^2}$

x	(0)	...	e	...	(∞)
$f'(x)$		+	0	-	
$f(x)$	($-\infty$)	↗	$\frac{1}{e}$	↘	(0)

よって, 右の増減表より 最大値は $\frac{1}{e}$ ($x = e$)

(2) $g(x) = e^x$, $h(x) = x^a$ ($x > 0$) とおくと

$$g'(x) = e^x, h'(x) = ax^{a-1}$$

$y = g(x)$ と $y = h(x)$ が共有点 P をもち, さらに点 P において共通接線をもち, 点 P の x 座標を t とするので, $t > 0$ のもとで

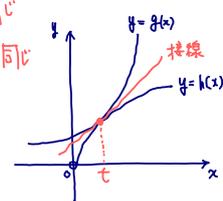
$$\begin{cases} g(t) = h(t) \\ g'(t) = h'(t) \end{cases} \quad \text{すなわち} \quad \begin{cases} e^t = t^a & \dots\dots ① \\ e^t = at^{a-1} & \dots\dots ② \end{cases}$$

① = ② として $t^a = at^{a-1}$ すなわち $t^{a-1}(t - a) = 0$

$t^{a-1} > 0$ であるから $t = a$

① へ代入して $e^a = a^a \quad \therefore a = e$

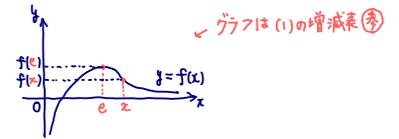
よって $a = e, t = e$



(3) $x > 0$, $x \neq e$ のとき (1) から $f(e) > f(x)$

これより $\frac{\log e}{e} > \frac{\log x}{x}$ すなわち $\log e^x > \log x^e$

よって $e^x > x^e$



①) $\log e^x - \log x^e = x - e \log x = ex \left(\frac{1}{e} - \frac{\log x}{x} \right) = ex \left\{ \frac{1}{e} - f(x) \right\} > 0$

①) から $x > 0$ における $f(x)$ の最大値は $\frac{1}{e}$ より $\frac{1}{e} > f(x)$

②) $e^x > x^e$
 $\Leftrightarrow \log e^x > \log x^e$
 $\Leftrightarrow x \log e > e \log x$
 $\Leftrightarrow \frac{\log e}{e} > \frac{\log x}{x}$
 $\Leftrightarrow f(e) > f(x)$